

## ACKU例会153回「蓼科・温泉」の旅報告

一昨年、岳友原田聡さんが購入された蓼科高原のペンション〔岳友山荘〕へ東西から総勢9人押しかけました。訪問の翌日〔9月23日；日〕が雨のため、予定していた蓼科山・北横岳・溪流釣の3パーティは中止と成った。そのため、近場の温泉・ショッピングに変更した、昨日の豪華パーティに続き、この日も昼過ぎから「東西合流」の「エンドレス・豪華パーティ」と成った。24日は晴天のため、ロープウェイ利用で半日コースの「北横岳」（2480m；北八ヶ岳）に登った。

久しぶりの東西合同例会が楽しいものとなり幹事として大変嬉しい。原田さんご夫婦の接待に感謝するばかりである（鹿児島から参加してくれた有馬さんのカンパチと焼酎にも感謝）。

- (1) 参加者 東京組；前田精三、大谷誠治  
関西組；金井健二、東郷賢治（L）、小谷辰雄、壺阪祐三、有馬誠、  
高田和三（M）、橋本昭（ACKU岳友）



「コスモスの ゆれゆれ続く 諏訪路かな」、「一望に 実りの色の 諏訪の里」  
賢（東郷賢治）詠む。

- (2) 記録；2014，9，22〔土〕；東京組みは大谷車にて、昼過ぎ山荘着。大阪組 7

人は、壺阪車・高田車にて 諏訪下社〔御柱を拝謁〕見学後 5時過ぎ山荘着。  
前もって刺身に仕立てていただいた「カンパチ」と奥様の多彩な手料理で盛り上がった。事前の多彩なメニュー〔原田さん準備〕の中から、3パーティを決める。誰が何処とは推察に任せますが、東郷リーダーの調整が大変。喋りつかれと、飲みつかれ、はたまた「明日の行動時間」を考えてか（溪流釣は早朝5時出発予定）、9時ごろには就寝。長老6人は2階の客間〔二部屋〕、若手（といっても70歳プラス）はシュラフでリビングのストーブ脇で就寝。

「蓼科に くり酒交わす 老岳友」 ; 賢 詠む。

「大甘の トウキビ盛って 大酒盛」、 「栗飯に 芋煮を副えて 岳友山荘」 ; 山雲 詠む。

9月23日〔日〕; 昨夜来から雨止まず。雨の中、原田ガイドの下、温泉とショッピング、周辺ドライブ。帰山荘後、大相撲千秋楽「日馬富士」の全勝優勝をテレビ鑑賞しながら「焼肉パーティ」が始る、相撲界の事、中国問題、はたまた現役時代の山の話がエンドレスに続く。特に「監督団」の話は、当事者たる東郷さん、ベッタさん、冷静に当時の時代背景を話す 金井長老、、、と大変興味深いものがあった。

氷ノ山のヒュッテ建設時から大変お世話になった「故中村健治さん」の奥様（コタマ様）が姫路でご健在とのことで、一同「寄せ書き」を行なった。90歳を越えられた由だが、お元気とのこと、我々の写真とお土産を添え激励することにした。

タバコはベランダだけで3人（飲んで吸い、吸っては談笑に入る状態）であったが、林の切れ目から星が出だした。東郷リーダーの提案の下、明日はゴンドラに乗り、全員「北横岳」の登頂に転進となった。夜、聡明なセミ盲導犬「ピース」の散歩にペンション・保養施設群周辺を歩いたが、1300mの冷氣と満点の星空を味わった。我々の毒気に興奮したのか、ピースが便秘とのこと「ごめん」。

「秋雨を タオルに受けて 石遊〔イシヤス〕湯 山雲（壺阪）詠む。



9月24日〔月〕；ゴンドラの始発が9時とのことで、8時過ぎ、奥様と〔ピース〕我々全員の写真を撮り出発。

ピラタススキー場の山ろく駅（8時40分）〔標高1771m〕～頂上駅（2237m）9時過ぎ徒歩開始。坪庭自然園を通り北横岳ヒュッテ〔通年営業〕～北横岳（2480m；南峯は2472，5m）。向かいに蓼科山（諏訪富士）、南に八ヶ岳連峰、其の向こう右には南アルプスの眺望堪能。原田ガイドの説明は詳細なり。12時頂上駅からゴンドラ〔往復@1800円、団体割引にて〕にて下山。3時間のトレッキングであったが、山道の整備もよく、ハイカー（山ガールなど）多し。このあたりの連山（北八ツ）は「女八ツ」というとのこと。

「秋風に 見え隠れする八ヶ岳」「老友も 健やか初秋 岳登り」；賢 詠む。

「縞枯れの 北横岳は 薄紅葉」 ；山雲 詠む。



麓の蕎麦屋で、「蓼科そば」を食べ、車 3 台、夫々帰途についた。

- \* 原田ご夫人には大変お世話になりました。飲みかつ語りだすと『20 年ぶりの再会』も昨日のごとく尽きることなく続きました。テントをともにした「仲間」です、ご勘弁ください。「下山部」と自称されていた「原田兄」がヒュッテ整備のお陰か若干スリムになられ、フルアテンドしてくださいました、感謝いたします。
- \* 東京からの前田大兄、大谷さん、はるばる鹿児島から参加してくれた有馬さんにも感謝いたします。ビール 1 杯でワイワイガヤガヤの談笑に参加いただいた金井長老、リーダー役と「座を引き締めていただいた」東郷さん、有難うございました。冷静沈着な壺阪さん、タフな橋本さんには多少物足りなかったかもしれませんが、感謝いたします。さらに病みあがりの小谷さんが元気になられ「日本の教育の現状」について語られた事を付け加えます。
- \* 最後に岳友山荘は素晴らしいところです。原田さんの迷惑を斟酌しながら、蓼科山のリベンジ、スキーなりゴルフ（温泉つき）を例会番外で企画したいと考えております。ACKUの皆様もスキーに避暑に、はたまたリハビリに精々利用させてもらいましょう。年寄りには元気に楽しみ「ポックリ」逝きたいものです。

(高田和三記)